

# ももについて

ももは、<sup>まるがめしはんざんちやう</sup>丸亀市飯山町の特産品で、<sup>とくさんひん</sup>県下一の生産量を誇ります。いろいろな品種が栽培されていますが、<sup>おも</sup>主に九州方面へ<sup>しゅつか</sup>出荷され、「飯南のもも」として人気があります。

ひとつひとつ袋をかけて、大切に育てられます。

## ＜飯山のもも作りの歴史＞

<sup>めいじ</sup>明治11年に、<sup>ねん</sup>当時の<sup>とうじ</sup>村長、<sup>そんちやう</sup>宮井茂九<sup>みやいもく</sup>朗氏が、<sup>いいのやま</sup>飯野山の<sup>なんろく</sup>南麓に約5haを<sup>かいこん</sup>開墾したのが始まりです。

<sup>げんざい</sup>現在では、<sup>さいばい</sup>ハウス栽培や<sup>かんこうももえん</sup>観光桃園、<sup>もも</sup>桃の木オーナー制度など、<sup>あたらし</sup>新しい<sup>じぎやう</sup>事業にも<sup>と</sup>取り組んでいます。約170戸の<sup>のうか</sup>農家が100haほどを栽培し、<sup>しゅうかくりやう</sup>収穫量は約700tになります。



## ＜飯山のももの品種と出荷時期＞

- <sup>ひ</sup>日川<sup>かわはくほう</sup>白鳳・<sup>ちよひめ</sup>ちよひめ（ハウス）・・・<sup>がつちゆうじゆん</sup>5月中旬～<sup>5がつまつごろ</sup>5月末頃
- <sup>ちよひめ</sup>ちよひめ・<sup>はなよめ</sup>はなよめ（極早生）・・・<sup>6がつちゆうじゆん</sup>6月中旬
- <sup>ひ</sup>日川<sup>かわはくほう</sup>白鳳・<sup>みさか</sup>みさか白鳳（早生）・・・<sup>6がつまつ</sup>6月末～<sup>7がつちゆうじゆん</sup>7月中旬
- <sup>あかつき</sup>あかつき・<sup>よしひめ</sup>よしひめ（中手）・・・<sup>7がつちゆうじゆん</sup>7月中旬～<sup>7がつまつごろ</sup>7月末頃
- <sup>なつおとめ</sup>なつおとめ・<sup>しみずはくとう</sup>清水白桃（晩生）・・・<sup>7がつまつ</sup>7月末～<sup>8がつしよじゆん</sup>8月初旬

直売所では、桃シャーベットや、ソフトクリームも販売されています！



もも桃はデリケートで傷みやすいので、扱いが大変です。また、<sup>かわ</sup>皮をむいたり、<sup>たね</sup>種をのぞいたりするのにとても手間がかかりますが、<sup>きゆうしよく</sup>給食では、みなさんに<sup>じもと</sup>地元のおいしいももを<sup>た</sup>食べてもらいたいので、<sup>いっしやうけんめいちやうり</sup>一生懸命調理します。味わって<sup>た</sup>食べてくださいね！